

会 議 結 果

会議名	令和5年度 第3回西尾市地域公共交通活性化協議会
日時	令和5年12月13日(水) 午後2時00分～午後3時30分
場所	西尾市役所 多目的室(1階)
出席者	西尾市地域公共交通活性化協議会委員19名 事務局4名 欠席：愛知県都市・交通局交通対策課 石屋委員、愛知県警西尾警察署 奥平委員、名鉄西尾蒲郡線応援団 鈴木委員、西尾市交流共創部佐久島振興課 服部委員 (一社)西尾市観光協会 委員
傍聴者	名
議 事	<p>1 開会・あいさつ</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・配布資料確認 <p>○松尾会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この秋に公共交通関係の視察に行った。スイスのバーゼル、フランスのストラスブール、富山県など。公共交通を社会インフラとして考え、維持というよりも便利にしていくよう投資をしている姿勢がみられる。 ・海外では信用乗車の仕組みがある。チケットを買うが、基本的にチェックしない。乗り継ぎなどに抵抗がなく便利なものである。日本にそのまま適用できるわけではないが、例えば、西尾市の乗り継ぎ券なども、券面の提示の必要はあるが、乗り換えのしやすさではそれに近い。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の半数以上の出席により会議成立 <p>2 議題</p> <p>(1) 令和5年度西尾市地域公共交通計画の評価結果について(協議事項)</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1により説明。 <p>○藤田委員(西尾市障害者福祉団体連合会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成状況について○△×など記号を書き素人でもわかりやすくしてもらえるとよい。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会資料にのみマークを記載するなど、次回以降の参考とさせていただく。 <p>○稲垣委員(西尾市民生委員児童委員協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率とは ・数値としては低い気がする <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率とは、経費÷費用のパーセンテージ。 ・コミュニティバスは黒字を目的として運行しているわけではないが、運行の費用負担を示す一定の割合である。 <p>○松尾会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政投資に対する費用効率を示している。100%を目指すものではない。 <p>○渡辺委員(愛知県西三河建設事務所西尾支所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙1、佐久島渡船以外はコロナの影響緩和により利用者増加と書かれているが、佐久島渡船のみコロナの影響で利用者減少とある。矛盾するようにも見えてしまうので表現を変えたほう

がよいのでは。

○事務局

- ・佐久島への観光客は県内の方などが多い。全国旅行支援によって、観光客に遠方の観光地へ向かう選択肢ができたことにより、渡船の観光利用が減少したのではと考えられる。

○潮田委員（大興タクシー（株））

- ・名鉄西尾蒲郡線の利用の実績値はどのようにカウントしているのか。駅で乗った人の数なのか、降りた人の数なのか。
- ・佐久島の利用者減は、4月の知床観光船の事故の影響があるのでは。

○事務局

- ・乗り降り両方の数字である。
- ・事故の影響も考えられる。

（決議） 全員承認

（2）三和ふれあいセンター西バス停の移設について（報告事項）

○事務局

- ・資料1により説明。

○藤田委員（西尾市障害者福祉団体連合会）

- ・移設先は縁石を乗り越える必要がありそうだが何か工事はするか。

○事務局

- ・市道となるので市で対応を検討したい。

○松尾会長

- ・移動後の三和ふれあいセンター西バス停の前後のバス停までの距離はどのようか。

○事務局

- ・米野橋バス停は200～300m程度。尾花バス停は800m～1km程度である。
- ・縁石については短期的に対応するか、長期的に対応するか。

○事務局

- ・車いすによる乗車は昨年度0件であるため早急な対応をとるまでではない。利用状況は把握していく。

○潮田委員（大興タクシー（株））

- ・バス利用者のうち農協への利用者は。また、歩道はあるか。

○事務局

- ・農協へ聞き取りしたが、現状ではバスで来る人はいないとのことだった。
- ・歩道は整備されている。

○鈴木委員（名鉄東部交通労働組合）

- ・南の方の交差点は通勤時間帯などには危険な交差点だと思われるが、その辺りは考えているか。

○事務局

- ・警察と協議済みである。
- ・バス停に向かって北進する車は、交差点の構造上、スピードが落ちると考えられる。
- ・移設候補地より北になれば横断歩道が近づくため移設不可能となる。

○鈴木委員（名鉄東部交通労働組合）

- ・スピードが出やすく警察も取り締まりを行っている場所だと認識している。

○松尾会長

- ・バス停の移動について、看板など出して注意喚起できるとよい。

○藤田委員（西尾市障害者福祉団体連合会）

- ・畑側に安全柵がないが取り付けるか。

○事務局

- ・特に予定はない。
- ・手前の柵は水路があり、その転落防止である。

(決議) 全員承認

(3) 一色地区における公共交通のあり方に関する検討状況について (報告事項)

○事務局

- ・資料3により説明

○鈴木委員 (名鉄東部交通労働組合)

- ・いっちゃんバスは一色町の中しか走っていない。渡船場から松木島、吉田駅へ伸びるようなルートをつくれればよい。

○事務局

- ・既存の路線バスに競合しないルートなら考えられる。一方で車依存が高いエリアのため、バスによる移動は可能性が全くないわけではないが現実的ではないとも考えられる。

○松尾会長

- ・一応、現在でも乗り換えれば駅へ行けるが、地元の意見としてどんなことがネックになっているのか。

○事務局

- ・乗り換えのわずらわしさがネックになっていると思われる。その他にも運行頻度が挙げられている。

○松尾会長

- ・いっちゃん、東部交通、ふれんどバスの各路線の乗り継ぎには、料金がかかる場合とかからない場合があり、複雑化している。
- ・いこまいかーは供給との兼ね合いになる。デマンド型乗合の場合は、予約の手間などがあり相当利用が集中しないと乗合にならない。費用対効果をよく考える必要があると思う。

○加藤委員代理 (名鉄バス (株))

- ・一色町公民館のバス停はもともと現在の場所より北にあったが、一色町公民館を交通結節点とするため移設した経緯がある。
- ・需要の食い合いにならないよう既存事業者と協力して公共交通を作っていければ。

(4) 夏休みおでかけきっぷの実績について (報告事項)

○事務局

- ・資料4により説明

○大興タクシー (株)

- ・乗客がどこへ行ったのかアンケートは取れているか。

○事務局

・名鉄は補助金の申請の関係上取れていない。ふれんどバスと名鉄東部交通バスは取れている。ふれんどは蒲郡市、碧南市、ベルサウオーク。名鉄東部交通バスは大提灯、佐久島、ベルサウオーク。切符が小さいためたくさんの設問はできなかった。実施回数を重ねることで回答を積み上げていきたい。初めての取り組みだったので、次回以降は改善していきたい。

○加藤委員代理 (名鉄バス (株))

- ・バスから電車への乗り換えは抵抗感が少ないが、バスからバスは乗り継ぎの抵抗が大きいように感じるので課題だと思う。
- ・切符を大きくしてしまうと運賃箱の故障の原因になる恐れがあるのでご配慮いただきたい。

○大竹委員（名鉄東部交通（株））

- ・出かけるきっかけとなったかという質問は、おでかけきっぷを配布したことにより無料だったからという意味か。
- ・結果を見ると、車の方が楽で便利ということではないか。

○事務局

- ・無料だったから出かけるきっかけとなったということである。

○松尾会長

- ・渡船も公共交通であるが、渡船に接続するバスは利用が少なかったと見える。
- ・おでかけきっぷの内容的には、渡船もバスも無料になるようなものだったか。

○事務局

- ・例えば西尾駅から佐久島に行く場合は、名鉄東部交通バスに乗って渡船場まで無料でいける。
- ・意図としては、渡船だけのお出かけ切符ではないので、行きつくところは乗り継いでいってほしい。利用の実態がそうではないことは痛感している。

○潮田委員（大興タクシー（株））

- ・それぞれの公共交通機関に乗るとスタンプを貰えるなど、親子が乗るきっかけづくりをしてはどうか。

○事務局

- ・来年度の参考にしたい。

○松尾会長

- ・来年度実施する前にもう一度議論できるとよい。
- ・利用者の方の意見を取り入れてもよい。

3 その他

- ・グリーンスローモビリティ実証事業の結果について
- ・第4回協議会開催日は令和5年2月末を予定

4 閉会

以上